

訂正

しょうなんメール2017.08 vol.125

P2 救急医療医師との交流講座の一部訂正について

誤

～次回の開催予定～

- ★10/18(水) 鎌倉市家族介護教室
- ・場所 玉縄行政センター
鎌倉市家族介護教室
- ・対象 鎌倉市内在住の方
- ・申込み 10/2~
地域包括支援センター湘南鎌倉
(0467-41-4013) まで

正

～次回の開催予定～

- ★10/18(水) 鎌倉市家族介護教室
- ・場所 **リハビリケア湘南かまくら**
1F 会議室
- ・対象 鎌倉市内在住の方
- ・申込み 10/2(月)~
地域包括支援センター湘南鎌倉
(0467-41-4013) まで

ページ右下の～次回の開催予定～の場所の表記に誤りがございました。誌面には場所が『玉縄行政センター』と掲載されておりますが、正しくは『**リハビリケア湘南かまくら 1F 会議室**』となっております。

誤った情報を掲載してしまい、申し訳ございません。

参加者の方、関係各所の方にはこの場を借りてお詫び申し上げます。

ご迷惑をお掛け致しますが、ご確認のほど宜しくお願い致します。

2017.09.04

SHONAN MAIL

しょうなんメール
2017.08
Vol.125



救急医療医師との交流講座
就任医師ごあいさつ
オンコロジーセンターからのお知らせ
日本乳腺甲状腺超音波医学会
第2回 マタニティZazenのお知らせ
院内七夕飾り付け
ロジュマン祭り

鎌倉花火大会(材木座海岸) 撮影:医事課 内海貴大

湘南鎌倉総合病院

病院広報誌

8年後、医療の何が変わるでしょう？ 我々は、何に備えておくべきでしょう？

湘南鎌倉総合病院 救急総合診療科
部長 山上 浩

「鎌倉っていいところですね！」福井の田舎で育った私が湘南ER(湘南鎌倉総合病院救急外来)で救急医として勤務して早11年が経ちました。救急医といえばドラマ『コード・ブルー』の山Pをイメージする方が多いでしょうか？「患者さんを救命する！」という使命感は山Pにも、もちろん負けませんが、湘南ERの救急医は救命だけではなく「いつでも どこでも 誰にでも 最善を尽くす」をスローガンに日々診療をしています。

重症のケガや、突然生死に関わる病気になって来院される方を速やかに診断し治療することは勿論のこと、ノドが痛い、頭が痛い、おなかが痛いなどといった日常的な症状や、

血が止まらないケガ、頭も胸もおなかもぶつけたケガ、子供がおもちゃを飲んだかもしれない、鼻にBB弾を入れてしまった、海で何かに刺されて激痛があるなど、どこに受診をしたらいいのか判断が難しい訴えにも対処し、必要に応じて専門診療科と連携し最適な医療を提供できるよう心がけています。

しかし数年前から、ERで働くだけでは限界があることに気付きました。ERは非日常的な出来事の連続です。突然大切なご家族が重い病気になった時「人工呼吸器はつけますか？蘇生行為は？」と生命に関わる極めて重大な決断をその場で迫られます。私の少ない経験ですが、その場で決断ができるご家族は1割を満たしません。また我々が求めている薬歴（どんな薬を飲んでいるか）などの情報を得るために四苦八苦して情報収集にあたることも稀ではなく、目の前に患者さんがいるのに残念ながら最善最速の医療を提供できないこともあります。

今、救急医としてできることは、病院で患者さんを待つことではなく「市民の皆様と対話し、何が必要なのかを一緒に考えていくこと」だと気付き交流講座を開くこととしました。人は必ず老い、必ず最期を迎えます。8年後に控えた2025年問題。この国で何が起きて、医療の何が変わるのでしょうか？国は吃緊の課題として様々な施策を講じていますが、国に頼るだけではこの難題を乗り越えることは決してできません。講座では我々が直面している問題点を共有し、今日からできる備えを紹介していきます。

医療講座といっても講堂で私一人がお話しするのではなく、今後は公民館のような場所でテーブルを囲んで皆様の意見を聞きながら、一緒に考えていく場になることを願っています。お気軽にお声掛けください。

～次回の開催予定～

- ★10/18(水) 鎌倉市家族介護教室
- ・場所 リハビリケア湘南かまくら 1F 会議室
- ・対象 鎌倉市内在住の方
- ・申込み 10/2(月)～
- 地域包括支援センター湘南鎌倉 (0467-41-4013) まで



就任医師ごあいさつ



外傷センター医長 二村 謙太郎

はじめまして。7月より外傷センターに勤務することになりました二村謙太郎と申します。湘南鎌倉総合病院の外傷センター医として、患者さんが少しでも機能障害なく社会復帰できるように日々精進していきたいと思っております。どうぞよろしくお願い致します。



呼吸器外科 西田 智喜

7月から湘南鎌倉総合病院に赴任させて頂きました。現在11年目になりますが、初期研修医から7年目までこの病院をはじめ徳洲会グループで勉強させて頂き外科医の基本から学ばせて頂きました。呼吸器外科専門医を習得するため外部へ3年間勉強に行かせて頂き、またこちらで働けることを大変光栄に思います。主として呼吸器外科診療に尽力して参りますのでよろしくお願い致します。

院内TOPICS

院内七夕飾り付け



小児科待合室の天井に天の川が！



今年も奄美大島の名物を当院職員が販売しました！

ロジュマン祭り

今年で30回目の開催です。



ハワイアンフラダンス『マカニサウンズ』 玉縄中学校 吹奏楽部による演奏





What's オンコロジー

オンコロジー(oncology)は、日本語では腫瘍学と訳されますが、まだなじみの薄い言葉です。がんの診断・治療から様々なケアまで包括した診療のできる部署という意味で、オンコロジーセンターと名付けました。

TOPICS 1

第17回「がん症例検討会と医療連携についての情報交換会」を開催しました。



いがらし歯科医院
五十嵐 史征 院長

7月18日(火)に、オンコロジーセンターが主催となって年2回行っている「がん症例検討会と医療連携についての情報交換会」を開催いたしました。今回は昨年に引き続きがん治療における医科歯科連携をテーマに当院の提携歯科医である、いがらし歯科医院院長五十嵐史征先生をお招きし、「周術期口腔機能管理のプロトコル～がん治療に有効な支持療法とするために～」と題してご講演を頂きました。口腔機能管理の治療指針、スコアを用いたプロトコルなどの他、実際の症例の提示もあり、明日からの臨床にすぐに役立つお話ばかりだったと思います。当日は110名の参加者が集まり、参加された方々からも勉強になったとの多くのご意見を頂きました。

周術期とは

入院、麻酔、回復といった、手術前後を含めた時期のこと。

ご講演の中にもあったのですが、当院のように歯科のない総合病院の中で、協力歯科医との連携でこれだけの口腔機能管理ができていく病院は全国的にも少ないとのこと。

現在は血液内科・腫瘍内科病棟での口腔ケアが中心となっていますが、近隣歯科医師会の先生方のご協力を頂き、入院前の周術期口腔機能管理について、さらに広く進められるように体制を整えていきたいと思っています。

口腔ケアの重要性

口腔ケアをきちんと行うことで、術後の誤嚥性肺炎を減らすこともできます。また、薬物療法による口腔粘膜炎の管理にも口腔ケアは欠かせません。

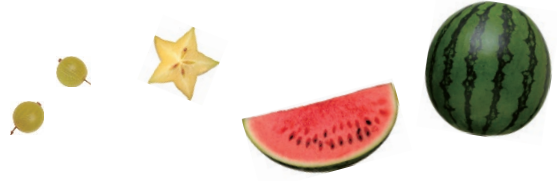


オンコロジーセンター長

また、患者さんにもお願いです。
『がん治療と口腔ケアは切っても切り離せない非常に大切な治療の一環』です。
是非、主治医の先生に口腔ケアについてのお話をしてみて下さい。これからもより良いがん治療を行っていくため、皆様とともに医療連携を進めていきたいと思っています。

TOPICS 2

第1回 がんサロンを開催しました。



がんサロンは、がん患者さんとそのご家族やご友人、ご親戚など、患者さん同士が交流を図り、どなたでも気軽に話せる場として7月15日からスタートしました。

また、がん相談支援センターとオンコロジーセンターの職員が一緒になって参加していますので普段聞けないこと、普段話せないこと、何でもお話しください。



参加者からの声

「患者同士が悩みを打ち明けたり、情報交換ができる場を求めている方は多いと思うので、この取り組みをたくさんの方に知らせて欲しい。」

「この病院でがん患者が集まれる企画をしてくれるのを、心待ちにしていました。」

申込不要

参加費無料

自由参加

次回のがんサロン

日程 第2回 8月19日(土)

第3回 9月16日(土)

時刻 14時～16時

場所 2Fオンコロジーセンター

日本乳腺甲状腺超音波医学会 第38回学術集会

湘南鎌倉総合病院
乳腺外科部長

田中 久美子

(写真前列中央)



当院乳腺外科が主管となり開催

乳腺と甲状腺の超音波に関わる医療者で構成される日本乳腺甲状腺超音波医学会(略称JABTS)の第38回学術集会が5月27・28日の二日間開催され、大会長を当院乳腺外科 田中 久美子部長が務めました。



今回は日本超音波医学会第90回学術集会との合同開催となっており、開催地は餃子とカクテルの街・宇都宮で行われました。学会には約1年前から日々の診療の合間を縫って乳腺チーム(乳腺外科医・外来看護師・超音波技師・クラークなど)で準備を進めました。

本学術集会では乳がん啓発に焦点を当てたシンポジウムや、超音波検診における特異度(陰性※を陰性と判断できるもの)を上げる工夫、Her2陽性乳癌の画像診断、乳房再建後の超音波診断、リンパ節診断に関するシンポジウムなど、基本的事項からいま必要とされるトピックスまで種々の企画で構成され、参加者からは「勉強になった」「興味深かった」などの声が聞かれました。

また、当院検査部からは二題の口演発表が行われ、日頃の成果のまとめを発表しました。

※検査不要のもの

会場運営は湘南鎌倉のスタッフが丸ごととなり、まずまずのおもてなしができたようでした。乳腺チームは日頃からカンファレンスを多職種で行っており、このようなイベントを行うにもチームワークを発揮しやすいのだと思います。乳腺チームほか院内外のスタッフにもご協力を頂き、二日間の学術集会は盛況のうちに無事終了しました。



第2回マンモサタデー
10/28(土)

昨年につき今年も、乳がん啓発イベント「マンモサタデー」を開催します。

女性のがんの中では最も多い乳がんについて、院内外の皆様の参考となるよう企画を進めますので楽しみに！



妊婦さんの坐禅会 in 鎌倉市 建長寺

第2回

マタニティZazen のお知らせ



▲第1回目の様子

日時 9月11日(月) 10:00~13:30

坐禅や法話、境内散策に加えて、今回は精進料理(建長寺ゆかりのけんちん汁)などを予定しています。

歴史ある寺院で
自分自身と向き合い、
お産への集中力を
身に付けませんか？

対象・費用 体調のよい妊婦さん(14週以降)・お一人3620円

ご家族も一緒に参加頂けます。お子様は、小学生以上は大人と同額となります。未就学児は無料ですが、お子様の昼食はご持参ください。

お産センターの
職員も参加して
妊婦さんを
サポートします。

予約 湘南鎌倉総合病院お産センター 0467-46-1717(代表) 9:00~17:00

予約制ですので産科外来・お産センター宛にご連絡ください。食物アレルギーのある方はお申し出ください。

締切 9月7日(木)12:00まで

当日はゆったりとした服装でお越しく下さい。
建長寺は北鎌倉駅から徒歩20分ほどです。
公共交通機関をご利用ください。

ご予約の上ご参加ください。
お待ちしております！



Best Hospitality Contest

ベストホスピタリティー賞 投票結果 第3回 看護部門 第4回 コメディカル部門



当院では、職員同士のほめる文化を推奨しており、定期的にホスピタリティーに優れた職員を表彰する機会を設けています。表彰された職員はページ右側のバッジを付けています。今回は3月に行われた第3回と6月に行われた第4回の結果についてお伝えします。

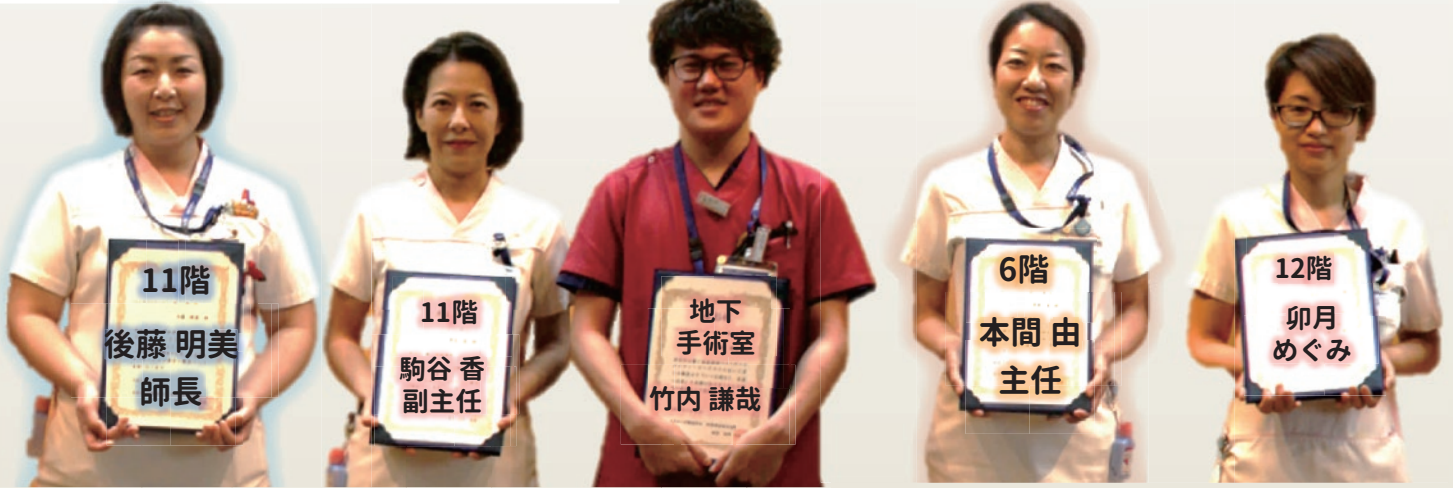
看護部門

一位に輝いたのは

後藤師長・本間主任の2名です！

- ・相談しやすく、話しやすい雰囲気とすぐに作れるコミュニケーションスキルの高さ。
- ・スタッフを大切にしてくれているのが分かる。
- ・勤務の調整、悩みなどを聞いてくれる。ママさんNs.の代表。

- ・いつも笑顔で声を掛けやすい暖かい雰囲気がある。
- ・患者さんのお話をゆっくり傾聴し、受け止めている姿が素敵だと思う。
- ・いつもスタッフと病棟のこと、妊産褥婦さんたちのことを考えて病棟をまとめている。



コメディカル部門

一位に輝いたのは

検査部 佐藤副主任です！

- ・患者さんにも職員にも優しく接しており、とても尊敬している先輩です！
- ・困っている職員に助言をしている場面を良く見かけます。
- ・とても頼りになる。検査部の母のような存在です。



SHONAN KAMAKURA

GENERAL HOSPITAL



医療法人 沖縄徳洲会

湘南鎌倉総合病院

〒247-8533 神奈川県鎌倉市岡本1370-1

代表：Tel 0467-46-1717(代表) Fax：0467-45-0190

(直通) 健康管理センター：0467-44-1454 人工膝関節センター：0467-46-7172

しょうなんメール編集・発行：湘南鎌倉総合病院 年報広報誌委員会

ホームページアドレス：<http://www.shonankamakura.or.jp>

